

研究課題名 健常者集団内に潜在する線維化ステージ別の NAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）の推計とリスク因子の解明
研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科 特任教授 田中純子
研究期間 許可日 ～ 2025年3月31日
対象者 2013年4月～2018年7月に公益財団法人広島県地域保健医療推進機構、公益財団法人岩手県予防医学協会が行う検診を受診した一般住民のみなさん
意義・目的 肥満やメタボリックシンドローム症候群人口の増加を背景に、非アルコール性脂肪性肝疾患（non-alcoholic fatty liver disease: NAFLD）患者の増加は全世界規模で大きな公衆衛生上の問題となってきています。NAFLD の中には肝疾患関連死亡のリスクの低い単純性脂肪肝（non-alcoholic fatty liver: NAFL）と、肝疾患関連死亡のリスクの高い非アルコール性脂肪性肝炎（non-alcoholic steatohepatitis: NASH）が含まれますが、両者の鑑別には肝生検による組織検査が必要とされます。しかし、生体への侵襲を伴う肝生検をすべてのNAFLD患者に行うことは不可能であり、非侵襲的な鑑別方法が検討されてきました。本研究では、いまだ明らかとなっていないNAFLD/NASHの実態及び自然史について、住民検診時の問診・血液検査・腹部超音波検査結果、残余血清検体を用いた肝線維化に関するマーカー測定結果をもとに調査します。
方法 本研究は、既存資料（健診データ）調査と保存血清を用いた肝線維化マーカー測定を行います。試料や情報は、誰のものか分からないよう加工された状態で広島大学へ集めたあと、広島大学・岐阜共立大学・岡山市立市民病院にて集計、解析を行います。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） 利用または提供を開始する予定日：広島大学における実施許可日（2018年10月26日）以降
共同研究機関 学校法人岐阜協立大学 地方独立行政法人岡山市立市民病院 試料・情報の提供機関 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構 公益財団法人岩手県予防医学協会
試料・情報の管理責任者 広島大学大学院医系科学研究科 特任教授 田中 純子
個人情報の保護について 本研究では、個人情報は取り扱いませんが、データの取り扱いには十分留意します。情報が、個人を特定できる形で公表されたり、第三者に知られることはありません。研究に資料を提供したくない場合は下記までお申し出ください。なお、お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている

場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

☎ 082-257-5162 FAX 082-257-5164

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 疫学・疾病制御学

研究責任者 教授 田中純子